

公益財団法人日下部・グリフィス学術・文化交流基金
令和4年度 第1回理事会議事録

1. 開催日時 令和4年6月3日（金） 10時から11時20分
2. 開催場所 WEB会議
3. 出席者 理事総数 11名
出席理事 8名
理事長 細谷龍平
理事 春日野道治, 鞍谷文保, 黒原繁夫, 花島 信, 林 和哉,
吉村直樹, 渡辺本樹
監事総数 2名
出席監事 2名
監事 堂 裕司, 馬來田善準
陪席者 1名
一葉正樹（福井県総務部大学私学課主事）
4. 議 題
 - (1) 審議事項
第1号議案 令和3年度事業報告及び決算報告について
第2号議案 令和4年度事業計画変更(案)について
第3号議案 理事, 監事, 評議員候補者の選任について
第4号議案 「幸福の足袋」事業の現状と基金の今後について
第5号議案 定時評議員会の招集について
その他
5. 定足数の確認
理事総数11名中8名の出席があり, 定足数を満たしていることを確認した。
6. 議事概要
 - (1) 審議事項
第1号議案 令和3年度事業報告及び決算報告について
事務局から, 令和3年度事業報告及び決算報告について説明があった。その後, 監事から監事監査報告書により, 令和3事業年度に係る事業報告及び計算書類等は, すべての重要な点において適正に表示されており, また, 当事業年度における財産の状況及び理事の業務執行については, 法令及び定款に違反し, または著しく不当な事項は認められない旨の報告があった。全員異議なくこれを承認した。
第2号議案 令和4年度事業計画変更(案)について
議長(理事長)から, 令和3年度第4回理事会で承認済である今年度の事業計画の4. 日下部太郎及びウィリアム・E・グリフィスを顕彰する事業(定款第4条第4号)のうち, 中学生短歌コンクールを取りやめ, 福井市グリフィス記念館の装飾及びグリフィス着ぐるみの替え衣装の制作などに変更したい旨説明があった。全員異議なくこれを承認した。また, 今後も事業計画に関わる軽微な変更については理事長に一任することについて了承された。
第3号議案 理事, 監事, 評議員候補者の選任について
議長から, 1名の理事から辞任届が提出されたこと及び5名の理事から任期満了のため退任したい

との申し出があったことを説明した後、後任の理事候補者を選任したい旨発言があった。審議の結果、渡辺本樹氏の後任として西東一彦氏、馬來田善資氏の後任として高屋雅樹氏、武部衛氏の後任として橋本直之氏、松田透氏の後任として松下晋也氏、吉村直樹氏の後任として山口淳治氏、林和哉氏の後任として山田聡氏の6名を理事候補者として選任した。さらに、任期が満了する春日野道治氏、鞍谷文保氏、黒原繁夫氏、花島信氏、細谷龍平氏の5名を引き続き理事候補者(重任)として選任することを全員異議なく承認した。なお、昨年就任した開発毅理事は任期を継続する。理事の任期は2年であり、今回選任される11名の理事の任期は令和6年度定時評議員会終結時までとなる。

次に、監事の馬來田善準氏から任期満了に伴い退任したいとの申し出があったことを受け、後任の監事候補者として諏訪光宏氏を選任し、同じく任期満了となる堂裕司氏は引き続き監事候補者(重任)に選任したい旨議長より提案し、全員異議なく承認した。監事の任期は4年であり、令和8年度定時評議員会終結時までとなる。

評議員については、任期満了に伴い辞任届が提出された近松茂弘氏の後任として鷲頭美央氏を評議員候補者として選任することを全員異議なく承認した。同じく任期が満了する赤澤孝氏、五十嵐昌子氏、岡崎英一氏、酒井美樹男氏、藤枝重治氏、堀照夫氏、山本博文、吉川雄二氏の8名は引き続き評議員候補者(重任)として選任することを全員異議なく承認した。なお、昨年評議員に就任した清水則明氏は任期を継続する。評議員の任期は4年であり、今回選任される9名の評議員の任期は令和8年度定時評議員会終結時までとなる。

第4号議案 「幸福の足袋」事業の現状と基金の今後について

議長から次のとおり説明した。

4月に学生が行った街頭アンケート調査によれば、3年前には約5%であったグリフィスの知名度が約27%に上がっていた。これはグリフィスの来日・来福150周年を記念して当基金が令和2、3年度に実施した「福井で見るサンタの夢」事業が、他団体の事業などとも合わせた結果とは思われるが、一定の成果を挙げたものと言える。同事業の延長である今年度の直営事業「幸福の足袋」は3月の理事会で承認してもらった方針に沿い、学生の参加も得て進めている。その中心になる企画は①本「幸福の足袋」の出版であり、その他の②幸福の足袋の制作・配布、③スタンプラリー、④グリフィス記念館の装飾(記念館入り口に来館者を歓迎するためにグリフィスの着ぐるみを設置することを含む)、⑤留学生とのオンラインクリスマス交流会、及び⑥クリスマス当日行事はそれぞれ本の出版(11月中旬を予定)と連動させて展開し、「幸福の足袋」のコンセプトと、そのイメージをシンボルとしてプロモートする。本の内容は、グリフィスが福井にいた150年前当時の研究を通して明らかになった新事実を含む史実に沿ってグリフィスの内面を解き明かすノンフィクション小説であり、主なターゲットは子供を中心にしてきた昨年までの方針からは切り替えて大人にフォーカスする。グリフィスが福井で行った日本初のクリスマスパーティーをプロモートし、2年後の新幹線開業に向けた福井の一つの観光誘客資源として磨くとの軸は堅持して行きたい。このため先日、連携する県内各団体との連絡会を立ち上げた。本は県内各書店での通常の販売に加え、福井青年会議所が本年実施中のオンラインクラウドファンディング事業「ふくいのでいいコトいいモノプロジェクト」に出店して本をリターンとする寄付を募る予定である。

基金の今後については、まず150周年事業で得られた若干の寄付と外部からの事業補助金を財産の運用益と合わせても基金の事業運営を長期に継続して行けるに足る安定的な収入基盤には程遠い現実が引き続きある。加えて、本職(理事長)は福井大学の常勤教員としての身分が本年度で終了することから、来年度以降は直営事業を大学との連携で学生の参加を得て行うことはできなくなり、またそれを前提に獲得してきた県と大学からの補助金も得られなくなる。また本職は来年には福井を離れる予定であり、引き続き時宜に応じて出張とリモートワークにより職務を継続していく用意はあるが、直営事業の実施には大きな制約が課されることになる。従って、今年度の事業は基本的に今後のための「種蒔き」と位置付け、来年度以降は、助成事業を含めて、関連団体が「幸福の足袋」をテークオーバーして育てて行ってもらえるための補助的、触媒的な役割にシフトして行きたいと考えている。

いずれにしても、財政基盤の抜本的改善は見通せない中で基金の支出は削減していく必要がある。青少年の国際交流への助成はそれ自体の意義はあるものの、当基金の本来の設立目的と独自性に鑑み

れば、日下部とグリフィス、特にグリフィスの顕彰と切り離して継続することは上記のように厳しい財政状況の下では適当ではなく、実質的にグリフィスの顕彰につながる交流事業の、ポストコロナを見据えたオンライン交流部分に対する一部助成に選択的に絞り込んでいく方針を当面継続したい。

これに対して、各理事より議長の方針を承認するとともに次のような意見が出され、今後これらの意見も踏まえてさらに検討していくこととなった。

全体に良い方向に向かっているので、引き続き理事長からは学生への助言を得て何らかの形で活動を継続していく方途、例えば遠隔でもPBLの授業の継続を検討できないか。グリフィス記念館を拠点とする常設の交流会の設置を検討してはどうか。県内各高校にはオンラインを取り入れた探求的な学びの開拓を奨励しており、当基金の助成による高大接続を通じた活動も検討してはどうか。現在県と福井市双方で新幹線開業に向けた町中のにぎわい創生のあり方を検討しているところであり、それと当基金の活動との連携を図るべきである。

第5号議案 定時評議員会の招集について

議長から、定時評議員会を次のとおり開催したい旨提案があり、審議の結果、全員異議なくこれを承認した。

①開催日時 令和4年6月21日（火）11時から

②開催場所 WEB会議

③会議の目的事項

(1)審議事項

第1号議案 令和3年度事業報告及び決算報告について

第2号議案 理事、監事、評議員の選任について

第3号議案 「幸福の足袋」事業の現状と基金の今後について

第4号議案 基本財産の取り崩しについて

その他

(2)報告事項

令和4年度事業計画及び予算について

以上をもって、議事を終了し、閉会した。

以上、この議事録が正確であることを証明するため、出席した理事長及び監事は、次のとおり記名押印する。

令和4年6月3日

公益財団法人日下部・グリフィス学術・文化交流基金

議長 代表理事（理事長） 細 谷 龍 平 印

監 事 堂 裕 司 印

監 事 馬來田 善 準 印